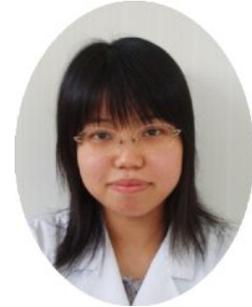


## 平成 19 年度新任者教育講座を終えて

株式会社 上総環境調査センター  
分析 I 課 武田 周子



今回の新任者教育講座を通して、学生と社会人の考え方の違いを感じました。

「環境計量士の仕事とは」の講義において、社会の経時的変化に早急な対応ができるよう幅広い情報の収集が重要であるというお話を拝聴しました。数ヶ月前まで学生だった私にとって情報収集といえば、自分の研究結果を満足させるために専攻分野のとても狭い範囲の中で過去の研究の文献やデータを拾い集めることが主でした。しかし、社会人は、刻々と変化する社会情勢やお客様のニーズに合わせて、タイムリーかつ正確な情報と知識が必要になります。お客様に値を提供する計量証明事業者の一員としての自覚と責任を持ち、様々な分野の情報に対して反応できるアンテナを身につけ、情報の習得にもっと貪欲にならなければと痛感しました。

加えて今回の講座では、会社全体で情報を共有することの必要性についても考えさせられました。実際、会社では安全衛生管理や業務の効率化などを実施するにあたって、会社全体やグループ単位での情報交換が重要になるという事です。本講座では、分析業務において自分 1 人の情報力、会社全体の情報力が共に重要であると認識する事ができました。

また、志を高く持つ同年代の新任者との交流は、今後の仕事の意欲向上につながる良い刺激となりました。周囲に負けないよう自分の技術を高めていきたいと思えます。

最後にご講演いただきました講師の方々、本講座を開催運営してくださいました千葉県環境計量協会の皆様および関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。